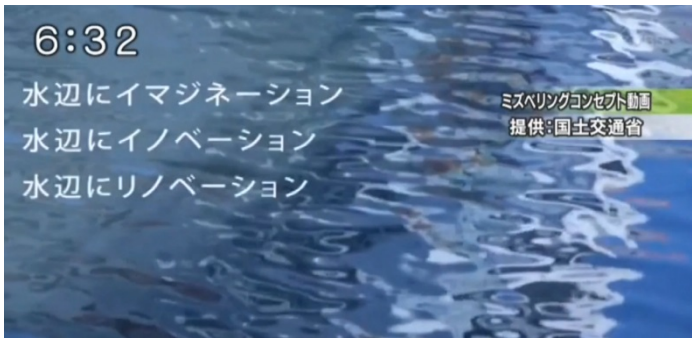
TV放映内容紹介

放　　映　　日　：　平成２７年　５月１２日（火）
Ｔ　　Ｖ　　局　：　ＹＢＳ（山梨放送）
時間帯・番組名　：　１８：３１～３６　「ワイドニュース」

● 内 容　1／3

●特集です。今日はこちらです。ミズベリングです。このミズベリングという言葉は、水辺と英語で輪を意味するringを合わせた造語です。国土交通省は、水辺リングプロジェクトを立ち上げ、全国各地で水辺に人が集う川の活用を進めています。今日は県内で進む水辺の活性化に向けた動きを取材しました。



●水辺の新しい活用法を探るミズベリングプロジェクト。

●県内で旗振り役となっているのが国土交通省甲府河川国道事務所です。

●田中克直所長は、このプロジェクトには水辺のにぎわいを作り出すための3つのコンセプトがあるといいます。

●甲府河川国道事務所　田中克直所長
「1つは「水辺を賢く利用する」ということ、2つ目は「民間企業に積極的に参入していただく」、3つ目は「市民または、民間企業を巻き込んでですね、そのソーシャルデザイン」各主体ですね、参加者が自由な発想のもとに議論をして水辺とまちの未来の姿を創造していく。」

●国は、規制緩和によって河川敷への民間企業の参入を可能にしたほか、地域ごとに住民や民間企業、NPO団体などを巻き込み、ミズベリング会議を全国各地で開いています。山梨では、笛吹市と富士川町でミズベリングの取り組みが始まっています。

●笛吹市では、笛吹川の鵜飼橋の上流に護岸を整備するほか、カフェなどの商業施設の誘致や、石和温泉街を流れる近津用水に京都の鴨川のような川床を整備する計画を進めています。

●河川敷など水辺を民間企業とともに活用することで、市の主要産業である観光の活性化を目指しています。

●笛吹市経営政策部　成島敦志部長
「ここの階段護岸のところも、結局花火大会がこの下流でやってますけども、大きい花火を上げれるようになったりとかそういう活用もできます。」

●「それによってまた向こう側の温泉街近津用水の桜並木とか、そこにまたイルミネーションをつけたりですね、にぎやかさをそこに作っていくという、そういうことに繋がって全体的に観光客も増えていく、そういうことを目指していますけどね。」

●このほか全国の大学生が参加する、観光まちづくりコンテストで今年はミズベリングと連動したテーマを設けるなどソフト面、特に人材の育成にも力を注ぎます。

●一方、富士川町は、富士川の河川敷に陸上競技場などの建設を計画しているほか、病院と連携して癒し効果としての水辺の利用を検討しています。

●これから本格的に動き出す県内のミズベリングプロジェクト、成功のカギは地域の住民の力だと、甲府河川国道事務所の田中所長は強調します。

●甲府河川国道事務所　田中克直所長
「行政も当然頑張るんですけれども、市民あるいは企業、行政から離れた部分ですねそういった方々が、ぜひ主役になって頂いてそうした考えも入れてですね、水辺の活性化をしていく、そうすることによって持続的に将来にわたって、より使われるものになるのではないかというふう思っています。」

●ｲﾝﾀﾋﾞｭｰにもありましたが、ただ行政がつくるということだけではなくて、地域全体で盛り上げて新しい地域の文化を創るんだ。といふうになったらより楽しいなと思いますね。